



TKK 共通シラバス

1. 科目名	地域住環境計画				
2. 教員名	中島 裕輔	3. 担当大学	工学院大学		
4. 対象学年	3年	5. 開講時期	前期	6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p>居住者の視点に立ってまちづくりを考える場合、地域・都市との関係性をふまえて住環境をとらえる必要がある。住宅の快適性確保、注目されている様々な省エネ型の住宅設備に加えて、地域・都市の土地利用、生態系との関係、熱環境対策、エネルギーシステムなど、快適で住みやすい住環境計画のための知識を学ぶ。</p>					
8. 授業のキーワード（神）					
住環境、快適性、地域、生態系、エネルギー、住宅設備、都市設備、ヒートアイランド					
9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）					
<p>各回のテーマごとにプリントを配布した上で、パワーポイントで多くの図や写真を解説しながら進める。また数回に1回程度、授業内容に関して調べたことや考えたことをレポートとして提出してもらう。最終的には学期末の試験で学修到達度の評価をおこなう。</p>					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）					
<p>テキスト 随時プリント等を配布する。</p> <p>参考書</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 都市環境学（都市環境学教材編集委員会編），森北出版 (2) 都市・地域エネルギーシステム（佐土原聡・中島裕輔他 著），鹿島出版会 (3) パーマカルチャーしよう！ 愉しく心地よい暮らしのつくり方，自然食通信社 (4) パーマカルチャー 農的暮らしの永久デザイン（ビル・モリソン著），農文協 (5) パーマカルチャー 自給自立の農的暮らしに（パーマカルチャーセンタージャパン編），創森社 (6) 畑がついているエコアパートをつくろう（平田裕之・山田貴宏 著），自然食通信社 (7) 里山長屋をたのしむ（山田貴宏 著），学芸出版社 (8) ZED Book ゼロエネルギー建築（高口洋人・中島裕輔 訳），鹿島出版会 					
11. 授業時間外に必要な学修（神）事前、事後に受講してほしい講義等（東）					
<p>【授業時間外に必要な学修】 参考書を参照して授業内容の理解を深める。</p> <p>【事前に受講してほしい講義等】 特になし。</p>					
12. 提出課題など（神）					
数回のレポート課題を予定					
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）					
レポートの提出状況も鑑みつつ、学習の成果を試験の成績で評価する。					
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）					

環境工学及び設備工学と建築設計・都市計画の間をつなぐような講義内容を目指しており、特に環境・設備系に興味ある学生は学科を問わず受講して欲しい。

15. 参考（ホームページ（神）、オフィスアワー（工）等）

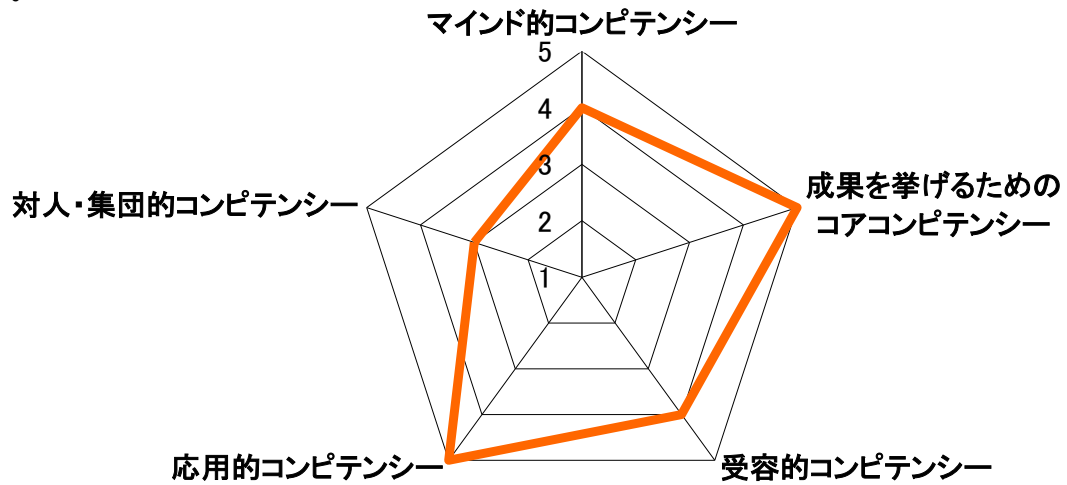
オフィスアワーは授業後

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	住環境とは
第2回	地域・都市の環境	地域・都市の気候と熱環境（1）
第3回	地域・都市の環境	地域・都市の気候と熱環境（2）
第4回	地域・都市の環境	エネルギーの面的利用
第5回	地域・都市の環境	地域・都市のエネルギーシステム
第6回	住環境	住宅の環境性能と快適性
第7回	パーマカルチャー	生態系と関係性のデザイン
第8回	パーマカルチャー	パーマカルチャー的視点からの住環境デザイン
第9回	パーマカルチャー	パーマカルチャーデザイン事例
第10回	パーマカルチャー	地産地消の家づくり
第11回	住環境	自然素材利用と環境性能の調査例
第12回	住環境	住宅設備とライフスタイル
第13回	環境評価	環境に配慮したまちづくり(1)
第14回	環境評価	環境に配慮したまちづくり(2)
第15回	学習成果の確認	学習成果の確認

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント

本講義では特に、情報を適切に整理・把握し、得た情報を自分なりに分析して課題解決に活用する能力の向上を養う。